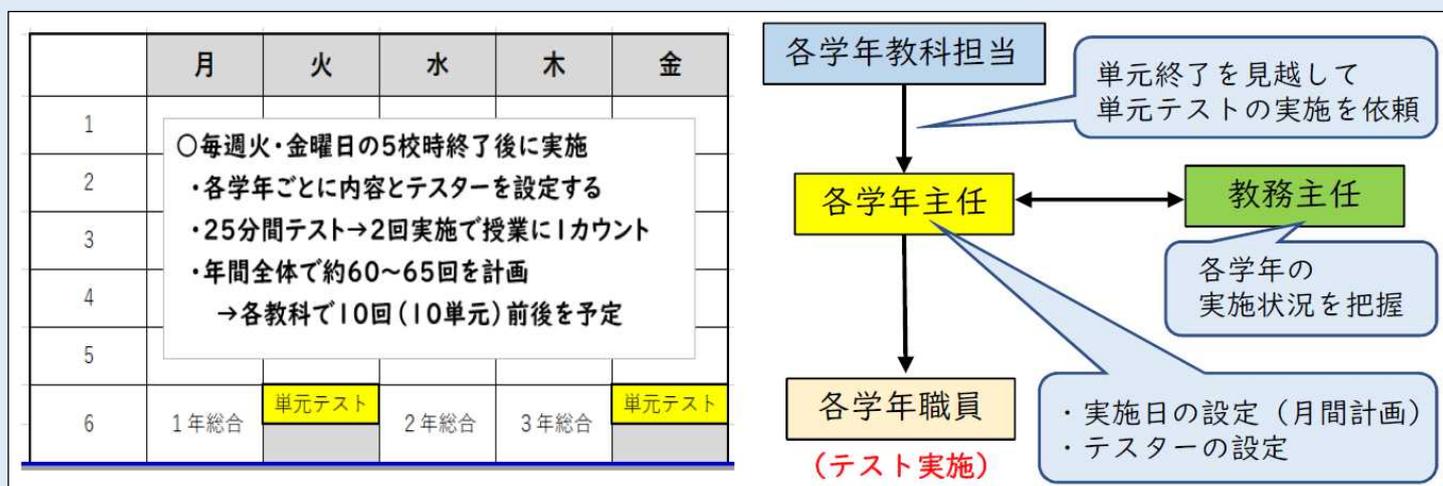


「週単元テスト」Q&A③

文責：教頭（前花 和秀）

Q5. 単元テストの実施日と授業の流れで実施したいタイミングがずれてくるのでは？

A5. あらためて週単元テストの実施（教科の決定）について整理します。



単元の学習を終えた後、直ちに単元テストを実施する方がより効果的であるとは思いますが、生徒の負担も考えると、定期的に週2回（火・金）単元テストを実施するという学習サイクルの確立を進めていきたいと考えます。

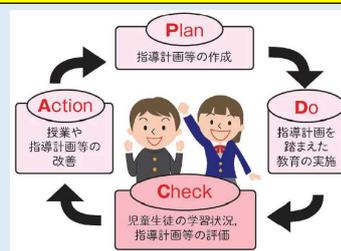
実際の運用では上図の右側で示している通り、単元終了を見越して実施日を設定する調整がポイントとなってきそうです。ただし、ギリギリに時期を設定すると全クラスが単元を終えられない危険性があり、期間を空けすぎると学習内容の定着効果が下がってしまいます。また、生徒に計画的に学習に取り組ませる習慣を持たせるためにも、私たち教師側も2週間先以上の見通しは示しておきたいところです。

設定時期	○メリット	●デメリット
単元終了後すぐに設定	学習内容の定着に効果的	単元が終わらないクラスが出る危険性
単元終了後しばらくして設定	全てのクラスが単元を終えられる	時期がズレすぎると定着に課題

このようなことから、週単元テスト実施の教科については、以下の点で確認が必要です。

- ①最低でも2週間先までの実施教科は決定しておく。（スケジュールを示す）
- ②テスト実施日までは、全クラスが当該単元の学習を終えられるようにする。
→ 内容が終えられない場合も、基本的にテストは実施する。※欠時数にしない

テスト日の延期をしないという点では、これまでの定期テストと同じと考えてください。「授業が終わらなかったから来週に延ばして～」となると、欠時数になったり、他教科の予定が変更になったりと迷惑をかけてしまいます。何より、子供達の「計画的に学習に取り組む能力」を育むためには、教師側が計画的に取り組む姿を見せることが大切です。



Q6. 未受験生徒の対応はどうしますか？

A6. 学校を欠席するなどテストを受けられなかった場合でも、A5にも示した通り、基本的にテストを延期することはできないと考えてください。当該生徒への対応については、これまでの定期テストや単元テストと同様に、登校した際に同じ問題や類似問題などでテストを実施し評価を行うこととなります。※火・金の放課後に支援員等も活用して実施できるシステムを検討

定期テストでは、席次を出すために「公平な条件で受験する」ことが重要でしたが、週単元テストは「指導と評価の一体化」のために実施します。一斉受験できないことが有利・不利にならないようなテストの在り方について教師・生徒の共通理解が大切です。